

第1編 播磨科学公園都市まちびらき 20周年シンポジウム

～より輝くまちに向けて～



## 【開会挨拶】

### ■挨拶

石井 孝一（兵庫県公営企業管理者）

皆さんこんにちは。

本日、師走の本当にお忙しい中、こんなに大勢の皆さんに播磨科学公園都市まちびらき 20 周年記念シンポジウムにお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。心からお礼申し上げます。

早いもので、播磨科学公園都市は平成9年のまちびらきから 20 周年ということで、今日お集まりの皆さんの中にも、もう 20 年か感慨深く考えられている方もたくさんおられると思います。今年度は、様々なかたちで 20 周年記念事業を展開しており、その一環として、このシンポジウムも開催しています。



おそらく皆さんは 20 周年事業とはどんなことをやっているのかなとお考えになっていると思います。われわれは、いろいろな事業を進めるにあたりまして、基本的な考え方を持っています。

ひとつには、20 周年だからということで、一過性のイベントみたいなことするのはやめようということです。

次に、事業の実施にあたって、行政が表に出るのではなく、やはり地域の皆さん、ここにお住まいの住民の皆さん、そして活動されている企業・団体の皆さん。その皆さんと一緒に、この事業を展開していこうということなのです。

このまちには、本当にすばらしい自然環境、あるいは建築物をはじめ、世界に誇るいろいろな資源があります。この資源をもっと活用しながら、このまちの魅力を高めていく、そんな事業にしていこうという思いを持って、記念事業に取り組んでいるとこ

ろです。

そのために、早い段階から、住民・企業・各種団体・関係行政機関からなる「播磨科学公園都市まちづくり協議会」に、私自身も参加するなど、様々な形でお話をしながら実施してきました。

そして、今年は子どもさんから年配の皆さんまで一緒になってワークショップを 6 回実施し、皆さんに参加していただきながら、様々なこのまちのいいところを発見し、あるいは、ここはもう少し改善しようというような話をしてきました。

今日もお越しいただいていますが、子どもさんが、本当に積極的に参加してくれました。自分たちの故郷を将来どうするかということ踏まえて、いろいろな意見を出してくれました。それが自分たちの故郷をもとにした「かるた」になり、今日もその成果を発表していただくことになっています。あるいは、みんなで地域を考える中で、夏祭りを一緒にやろうというチームができ、700 人の方が参加される催しになりました。

その他にも住民の方々が主体的になって、例えばジャズフェスティバルをこの会場でやろうということになりました。それも第 1 回と銘打たれて、来年以降も第 2 回、第 3 回と続けるという決意のもとで開催されました。いろいろな形でこのような活動が積極的に展開された年になりました。



次にハード面の話題ですが、サッカー場はもともと 7 面ありましたが、非常に人気で、土日、夏休み等は予約も取れないという状況にありましたので、これに 4 面を新たに整備しまして、全体でフットサルコートも含めて 11 面のコートができました。これも、このまちに既にある資源を様々な形で活用していこうということで、平成 20 年に閉鎖・廃止されたヘリポートを活用して、子ども用のサッカー場を整備しました。安藤忠雄さん設計であるヘリポートの管理棟は、子どもたちのサッカーを見守る観覧

棟に位置付けを変えました。安藤忠雄さんに私が直接電話を入れまして、「今まで利用されていなかった建物をサッカー場の観覧棟に変えると、こどもさんが一杯使ってくれるようになりますが、先生、それでよろしいでしょうか。」とお願いしました。すると安藤先生からは「いいですよ。こどもが活用してくれるのでしたら、それでいいです。」ということでしたので、こども用のサッカーグラウンドの整備が前に進みました。

他にも人気のチューリップ園は、秋がちょっと寂しいということで、そのスペースそのものを活用して、コスモス園というかたちで開催しました。もっと回数を重ねることで、コスモス園も多くの方が来れるようになるのではないかと考えています。

また、農産物の販売所も、いろいろな調整の中で来てくださったのですが、週1回営業からスタートして、今は週5日営業してくれています。

平成32年度末には播磨自動車道が全線開通する予定ですので、このまちに「中国自動車道と山陽自動車道をつなぐ結節点」として多くの方がお越しいただけることとなります。そのような新しい動きをまちの賑わいづくりのために受け入れていく取組も進めつつあります。



それと皆さんもよくご存知のように、このまちはもともと、第2工区、第3工区を含めて25,000人の人口を想定していたまちです。しかし、現実には、今は第1工区だけが開発され、そこに夜間人口で約1,400の方がお住まいになられています。ただし、第1工区で想定していた以上に様々な施設をここに設置したことによって、昼間に、自分の席がある、例えば学校でしたら学校に席がある、そういった方たちの人数、すなわち昼間人口が約6,000人と、当初想定していた人口5,100人を超える方々がこのまちにおられます。後ほど詳しく説明させていただきますが、ちょうど東京都港区のような昼夜間人口比率になっています。昼間は賑わっているが、夜間は

人口が少ないのが現状です。

しかし、いろいろな形での取組によって、このまちは多様な魅力を形成し発信ができるまちになりつつあります。このシンポジウムを通じて、これまでの播磨科学公園都市がどのような変遷をたどって、そして、現在はどのようなまちになっているのかということをも改めて住民の皆さんにもお話をさせていただき、これからのまちを、どうやってつくっていくかについてみんなで語り合いながら、共にこのまちがより一層輝くまちになっていければと思っています。

このシンポジウムには、こどもさんたちも参加していただいておりますし、最後までこの場で一緒に考えていただきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

## 【第1部】 こどもたちが語る「光都のみらい」

### ■参加者（左から）

廣本 楓麻（播磨高原東小学校6年）  
宋 多涓（ソ・ダユン）（播磨高原東小学校6年）  
西村 奏（播磨高原東小学校6年）  
富名腰 クララ（播磨高原東小学校6年）  
徳島 尚（播磨高原東小学校5年）  
船引 香帆里（兵庫県立大学附属中学校1年）  
榊 さくら（兵庫県立大学附属中学校1年）  
清瀬 桃華（兵庫県立大学附属中学校1年）

### ■コーディネーター

中脇 健児（場とコトLAB代表）  
長谷川 香里（納屋工房主宰）

### ■司会

白川 智子（兵庫県企業庁総務課副課長）

### 司会

ただいまから第1部の「こどもたちが語る「光都のみらい」」を開始いたします。まず、壇上の皆様をご紹介します。第1部の進行役をお願いしております「納屋工房」主宰の長谷川香里様と「場とコトLAB」代表の中脇健治様です。ここからの進行は、長谷川様をお願いいたします。



### 長谷川氏

この夏から実施している「テクノ再発見プロジェクト まちのタネ編」のコーディネーターを務めさせていただいている長谷川と申します。よろしくお願いいたします。

私は普段は、姫路城が見える場所で「納屋工房」というコミュニティスペースという人が集う場の運営をしています。

中脇さんも自己紹介をお願いします。

### 中脇氏

私は「場とコトLAB」という名前で、関西を中心に、住民や商店街の方々と一緒に、話し合いながらプロジェクトを立ち上げていくお手伝いをしています。どうぞよろしくお願いいたします。

### 長谷川氏

今日はたくさんのこどもたちが壇上に上がってくれているので、まずは自己紹介をしてもらいたと思います。このプロジェクトのうちでも「まちのみらいかるた」のワークショップに関わってくれた播磨高原東小学校6年生の皆さんと、兵庫県立大学附属中学校1年生の皆さんです。

じゃあ小学校の皆さんから順番に、自己紹介とひとこと「今ハマっている遊び」いきましょうか。

### 廣本さん

播磨高原東小学校6年の廣本楓麻です。今ハマっている遊びは……。

### 中脇氏

…リハーサルでは言ってたやん。

### 廣本さん

今ハマっている遊びは落とし穴を作ることです。  
（会場笑）

### 宋さん

前の廣本さんと同じく播磨高原東小学校6年生の宋多涓です。今ハマっていることは絵を描くことです。

### 西村さん

ここに座っている5人と同じ小学校に行っている西村奏です。今ハマっていることはジグソーパズルです。

### 富名腰さん

同じく播磨高原東小学校6年の富名腰クララです。今ハマっていることは鉛筆で紙にいろいろな模様を書くことです。

### 徳島さん

播磨高原東小学校5年生の徳島尚です。最近ハマっている遊びはかくれんぼです。

### 船引さん

附属中学校からきました船引香帆里です。最近ハマっていることは音楽を聴くことです。

### 榊さん

同じく兵庫県立大学附属中学校からきました榊さ

くらす。ハマっていることは読書です。

### 清瀬さん

同じく県立大附属中学校の清瀬桃華です。最近ハマっていることはアニメを見ることです。



### 長谷川氏

ありがとうございます。みんなとはこの後、このまちのみらいかるたの発表をしていきたいと思うんですけど、まずは中脇さんに、この再発見プロジェクト全体、これまでにやってきたことを振り返っていただきたいと思います。

### 中脇氏

はい。何ができるか大上段で考えずに、まちの魅力とか自分がしたいことみたいなものをベースに、まずは話し合ってみるということをや7月から始めました。

私はそのときのコーディネーターだったんですが、こういった場では、みんな硬かったり、おとなしかったり、人見知りとかがあるかなと思っていました。しかし、実際やってみると、いろいろな方が世代問わずにかなり前向きにしゃべるといった感じの雰囲気が見られたので、僕としてはもうこれはもうどんどん、あまり魅力がどうこうというよりも、やりたいことをやっていく方がいいんじゃないかなあと思って、「じゃあ次はもうこのうちのどれかやっちゃいませよか」と言ったのが分岐点だったかなと。そのときにお母さんがたがワーって盛り上がったのが僕は忘れられない瞬間でしたね。

ちなみに、このときにもみんな参加してくれてたんですけど、ダヨンとかどうかな。そのときに印象的だったことを。

### 宋さん

一番最初の目的とは違うことになっていって、「えー」って思った。

### 中脇氏

「えー」って思ったのね。小学6年生に心配され

てしまいました。クララはどうか。

### 富名腰さん

私も、最初はまちのいいところを集めるだけだったんですけど、最終的にパーティするみたいな感じになってたので、ちょっと外れた感じになってたと思います。

### 中脇氏

そんな感じで、誰もがこうなるとは思ってなかったってことやったんですけども。じゃあ夏、夜にワイン飲みながら星空見たいとかですね、そんな声があったんで、それもうやっちゃいましょうと。

しかも普通なら結構そこから時間かかるんですけど、このプロジェクトがよかったなと思うのが、この土地を管理してるのが県で、その辺については前向きにすぐに対応してくれたのが印象的でした。

そんなわけで、こういったことを8月11日に「星をみる、酒をのむ、虫を見つける」という形で始めました。

### 長谷川氏

光都プラザのすぐ前にある芝生広場で、いろいろやってみようということになったんですね。

### 中脇氏

今回すごい便利だなと思ったのが、普通アウトドアの場所でやるんだったら、トイレが遠いとか買い物場がないとかなんですけども、歩いてすぐのところ大自然が広がっていて、トイレとか買い物もすぐできるっていうのはよかった。実際流しそうめんもしてみたりとか、スイカ割りいいですね。健全な夏休みの1コマみたいですけども。

### 長谷川氏

お盆前の8月11日ですね。

### 中脇氏

みんなを持ち寄ったおかずをみんなで食べました。夜はカブトムシを採るためにエサを仕込みに行きましたね。ここの芝生にテントを張って泊まるっていうことが、本当になかなかできないことをやったんじゃないかなと思います。

実際泊まった参加者として、モンキー、ちょっと感想言ってください。

### 廣本さん

泊まるときに星空とかがすごくきれいだったり、動物のいろいろな声が聞こえたりして。

**長谷川氏**

動物の音が聞こえたの。どんな声が聞こえましたか。虫の声とかですか。

**中脇氏**

動物かな。鹿みたいな。

そして朝起きて、みんなでラジオ体操をしました。僕も泊まったんですけども、すごい爽やかな朝でした。でも長谷川さんは帰りましたよね。

**長谷川氏**

近所なんで。へへ。でもテントで泊まってみることなんてないですよ。近くに住んでもね。

**中脇氏**

これはすごい。今は都市型キャンプとかすごく流行ってますよ。

こどもたちと仕掛けた罫を見に行きましたが、この山も県のものなんで、それも自由にできるってのは、すごくポテンシャルだなあと思いました。

それでスイカを食べて、次何やろうかみたいなことを話して解散しました。前日のことを次の朝にさっそく新聞に載せていただいて、みんなで成果の実感を感じながら終わったっていうのも印象的でしたね。

その次が「てくてくブラテクノ」っていうんですけども、これは最初のワークショップのときのアイデアで、SPring-8の周りを一周マラソンしてみたいということやったんですけど、さすがにそれできひんってことやったんで、普段入れへん場所とか体験をしてみようということでしたね。これには長谷川さんが参加してくれました。

**長谷川氏**

そうですね。マラソンはちょっと難しいやろということだったんですけども、その、普段の見学では行かない建物の屋上に上げていただいて、このSPring-8の全体を上からみんなで見ることができましたよね。

**中脇氏**

これは奏ちゃんから印象的な出来事とかを言ってください。

**西村さん**

実際、行けなかった場所に行けたり、実験したりして、いろいろ楽しかった。

**中脇氏**

もうちょっと具体的に言ってよ。どんな実験をし

たのかな。

**西村さん**

何か、静電気で。

**中脇氏**

静電気ね。

**長谷川氏**

実際の先端技術はすごいんですけど、みんなに分かりやすいような静電気の実験をしてもらったんですよ。

**中脇氏**

こうやって教えてくれるスタッフの方がいらっしゃってて、それがすごく印象的な感じでしたね。

**長谷川氏**

見せてもらうだけじゃなくて、体験できたんですよ。

**中脇氏**

それからこうやって SPring-8 内を歩いていきました。これも車で行けば早いですけども、せっかくなら散歩がてらててくと。

この頃くらいから「自然」と「先端施設」との融合で遊ぶことが重要なのかなあみたいなのを気付きました。帰りこうやって栗がなっているのを見ました。

じゃ、秋はということで「秋の里山パーティ」をしたんですけど、播磨科学公園都市まちづくり事務所の女性のスタッフの方が「実は私はよく栗拾ってるんです」と言い出して。なんや達人がこんなところにおるやんかみたいになって、この人のナビゲーションによって光都プラザで秋を堪能、そして焚き火とかやっちゃおかみたいな形で進みました。

それで、普通はこういうショッピングモール街とかで、火を焚くなんて相当ありえないんですけども、ドラム缶を半分に切ったバーベキュー台みたいなものでやりました。

こどもたちも、火を焚くと盛り上がるんで。野菜の直売所もあるので、そこで買ってきた野菜を焼いたりですとかですね。僕は単純に楽しんでるだけですけども。こうやって、地域おこし協力隊の方とかも入っていただきました。

お母さんが差し入れとか持ってきてくれて、こんな作ってはんねんなあ、みたいなことを感じる一幕でしたね。

それで、近くに栗山があちこちにあって、そこでの保護活動されてる方のお話も聞きながら、みんな

で秋の味覚を食べました。その後に実際に栗拾い行こかみたいなことやったかな。

### 長谷川氏

身近なところに栗の木がたくさんあるんですね。一杯拾ってこれました。

### 中脇氏

じゃあ、なおちゃん、実際に栗広いに参加したときの感想を。みんなが覚えている印象的だったことを。

### 徳島さん

栗を落とすときに私の頭に当たって、すごい痛かったです。

### 中脇氏

しかも、自分がやったのが当たるんやったらまだしも、他の人やってるのがぼと一つ落ちて、当たってんな。ちゃんと落とすときはみんなちゃんと声掛けようね。

### 長谷川氏

あの竹の棒でね。えいえいってやって落ちてきたんですね。

### 中脇氏

これもほんとに街路樹のように栗の木があるっていうのがね。僕は大阪の北摂の方に住んでいるんですけども、そんな場所があるんだなあってびっくりしましたね。

まちづくりっていうと何か偉そうなんで、魅力再発見っていうよりは、既にあるものを上手に使いこなすというのが、特に夏から秋にかけて、僕がコーディネートさせてもらったプロジェクトでした。

### 長谷川氏

その続きで、この子どもたちのまちのみらいをつくるかるたのワークショップをやったわけですけども、いろいろ遊んできて、テクノのいいところが一杯あるなあっていうことが分かってきたんですけども、これから日本の人口が減って行って、テクノももしかしたら人が減ってきてしまうんじゃないっていう問題提起をしました。人口減少のパーセンテージを中学校のクラスに当てはめたら、クラスはなくならなかったですけど、班がひとつ減るくらいになっちゃいました。これはやっぱり魅力を伝えていかなあかんああとということで、みんなでテクノのいいところ、光都のいいところを集めるというワークショップをしました。

いいところをたくさん出してきて、それを使って「あ」から「ん」までのかるたを作ったわけです。本当は「あ」から「ん」まで全部できると思ってなかったよね。

### 中脇氏

長谷川さんが姫路の小学校とかでもやっているってこと聞いてて、どんなもんか聞いたら、20~25くらいじゃないかなと言ってたら、すごい勢いでできた。

### 長谷川氏

15人ほどの参加者で、46個の全部が当てはまるようにできちゃいました。

### 中脇氏

途中から、みんな無理やりやりました。

### 長谷川氏

でも、いいところ、一杯出てきましたよね。じゃあ、みんなで作ってくれたかるたを発表していきたいと思います。

たくさん作ってくれた子もいるんですけど、一番気に入ったかるたを紹介してほしいと思います。



### 廣本さん

僕が選んだかるたは「むかしはね 三のう山も村だった 自然豊かでおちつくスポット」です。なぜこれを選んだのかというと、自然のところが光都に似合っていて、自然も好きだからです。

### 中脇氏

ちなみにこのときに彼が自分のこと（ニックネーム）を「モンキー」ですと言ったんで、そっから僕もずっと彼のことモンキーと呼んでいます。

### 長谷川氏

近くの村の自然の豊かなところを表現してくれました。はい、続いてダヨンちゃん。



宋さん

はい。私が選んだかるたは「にさんかたんそが少  
ねえ！」です。気に入ったところは、爽やかにうま  
く書けたので、気に入りました。

中脇氏

これはダヨンの書いたイラストかな。

宋さん

はい。

中脇氏

うわー。うまいなあ。

長谷川氏

最近ハマってるのは絵描くことって言ってたよね。

中脇氏

うおー、うまいうまい。

長谷川氏

すごいきれいですね。「二酸化炭素が少ない」っ  
て、大人だったらどうやって書いたらいいか分から  
なくてね。

中脇氏

そやね。それをこう。

長谷川氏

爽やか感でまとめてくれました。じゃあ、奏ちゃ  
ん。お願いします。



西村さん

私が選んだのは、「ごちゃごちゃしない クラス  
がえがないから、ずっ友！」で、前いた学校はクラ  
ス替えがあつたりしたから、友達と離れ離れになっ  
ちゃって悲しいを思いましたけど、ここに転校してき  
てから、もうずっとクラスのメンバーが同じだから、  
より6年間で絆が深まったりしたなって思った。こ  
こがいいとこじゃないかなって思ったりする。

(会場拍手)

長谷川氏

みんな仲良しなんですよ。

中脇氏

会場から拍手がありました。いいですね。

長谷川氏

かるたを作ってるときもすごいみんな楽しそう  
でした。

中脇氏

楽しそうやった。みんなキャラが分かれてるん  
ですよ。向かって左の二人がお調子者担当で、だいた  
い真ん中の2人は落ち着かせてくれるんですよ。  
じゃあ、落ち着かせてくれるクララちゃんいきま  
しょう。

富名腰さん

私が選んだのは「ろうそくつかって のはらで花  
火」です。これを選んだ理由は、前に住んでいた建  
物の多いまちでやった花火は場所が狭くて空もきれ  
いじゃなかったのがあまり楽しくはなかったんです  
が、ここでした花火は場所も広いし、空もきれいだ  
ったのでとても満足しました。

中脇氏

花火だけじゃなくて、星空を書いているのがね。こ  
のクララちゃんが何でこれを選んだのかっていうの  
がよく分かる1枚ですよ。

長谷川氏

夏の花火のこと思い出したのかな。

富名腰さん

はい。

中脇氏

芝生広場のアスファルトの道路部分でやったん  
ですよ。

長谷川氏

そう。道路があるので安全にできた。ありがとう  
ございます。

じゃあ、なおちゃんいきますか。



**徳島さん**

はい。私が選んだのは「えを描こう このけしきをのこすため」です。絵で工夫したところは、女の子が帰ってから絵を描こうと考えているところを絵にしました。

光都を未来まで残せるように。

**中脇氏**

なるほどね。それで虹色みたいな感じにしているのね。

**長谷川氏**

未来に残すために私のできることは絵を描くってことですね。

じゃあ、中学校の皆さんもいきましょうか。

**船引さん**

私が選んだかるたは「バスがどんどんやって来る」です。私は二つしか書いてないんですけど、私がこの中学校に通えてるのもバスがたくさんやってきているおかげで、そのバスの中でも人の出会いとかがあったりするんで、このバスがあつてよかったなって思ったので、このかるたを選びました。

**中脇氏**

ありがとうございます。附属中学校のみんなは通ってる子たちなんで、朝の風景がすごく印象的なんだろうなっていうのが分かりますね。



**榊さん**

私が選んだのは「しずかな環境で学べます」というかるたです。建物が建ったりとか、どんどん畑とかなくなってきたりしてる中で、ここの学校では周りを木とか自然で囲まれていて、授業中もトラックの音とかで授業がさえぎられることもなく、静かなときだったら鳥の音とか風の音とかすごいきれいになって思ったので書きました。

**中脇氏**

はい。ありがとうございます。次は桃華さんいきましょう。

**清瀬さん**

私は「スプリング8 最先端がここにあり！」にしました。以前、学校で SPring-8 とか SACL A にお邪魔させていただいたときに、自分が通っている学校の近くにこんなすごい施設があるんだということにすごく驚いたので、このかるたを作りました。

**中脇氏**

やっぱり SPring-8 は、住んでる子も通う子もここはすごいんですよみたいな、いわばテクノの代名詞的な施設ですね。



**長谷川氏**

そうですね。ということで皆さんに紹介してもらったんですけども、本当におもしろいものができるということがお分かりいただけたかなと思います。

皆さんのお手元にもカラーでかるたがお配りされていますので、よかつたらご覧になってください。

**中脇氏**

一部に僕とか中年男性が書いてそうなものも混ざってますが。

**長谷川氏**

中年女性も書きました。

中脇氏

その辺はもう見逃してしていただければと思います。

長谷川氏

でも実際は、2日間、全部で3時間ぐらいで、アイデア出しから制作までをやっておりますので、短期間ですばらしいものができたんじゃないかなと思っています。もう少し見ていきましょうか。

中脇氏

長谷川さんが印象的だと思うかるたは何ですか。

長谷川氏

そうですね。私も選んでみましたが、例えば、「さ」の「さいがいじ電気をちよくでつかえてべんり」。奏ちゃんを書いてくれてるんですけど、これ説明してもらっていいですか。

西村さん

4期住宅にある太陽光発電所に見学に行かせていただいたときに、パネルに書いてあったり教えてもらったりして、これはすごいから、残したり、他のまちにも広げたらいいんじゃないかなって思った。

中脇氏

すばらしい。

長谷川氏

そう。こんなものがあるんですね。すごいなあと思いました。じゃあ、後はどんなものがあるかな。「あ」いきましょうか。これ書いてくれたの誰かな。

中脇氏

これは中学生男子かな。あ、モンキーか。

長谷川氏

説明してくれますか。

廣本さん

新しくサッカー場ができたっていうことを書きました。

長谷川氏

そう。新しいサッカー場ができたんですね。なんか、その、サッカーができる場所が増えたよっていうのを表現してくれてるんですけど。廣本君もすごいたくさん書いてくれて、なかなかのクオリティのものがたくさんあります。

中脇氏

同じ文字にたくさんいいところが出てきたのがありますよね。

長谷川氏

そうですね。一番多かったのはどれかな。「し」ですね。周りが山なので静かってやつですね。

さっきの、さくらちゃんが書いてくれた「しずかな環境で学べます」っていうものです。「静かな」は全部で10個ぐらいありまして、「周りが山なので静か」とかいうものもあったり、こうやって、たくさん意見がひとつになっているものもあります。「く」なんかもそうですね。「空気がきれい」っていうのもみんながたくさん書いてきてます。

「空気が澄んでいる」とかね。「空気がきれい」書いてくれたのは誰かな。まこちゃんか。

中脇氏

まこちゃんね。

長谷川氏

なおちゃんが考えてくれて、まこちゃんっていう子が書いてくれたやつですね。協力関係もあって、意見を出してくれた子と、書いてくれた子が別だったりもします。

後は「て」もすごく面白かったですよ。「でんちゅうないからまちなみきれい」ってやつですね。クララちゃんを書いてくれました。



中脇氏

クララちゃんも一言。

富名腰さん

はい。前に住んでたまちは電柱が多かったんですけど、こっちにきて気付いてみたら電柱はひとつもないなって思ったので書きました。

長谷川氏

そうですね。電柱もないですし、摒みたいなの

もすごい少なかったりして、過ごしやすい、まち並みがきれいになっていうところに気付いてくれるの。

中脇氏

中学生からも、何かしゃべってもらおうかな。

長谷川氏

そうですね。中学生の子が書いてくれたかるたはどれかな。

清瀬さん

私は「う」の「うつくしい星！空いっぱい広がってく」です。

学校で行った天文台から見た星がすごくきれいで、家から見る風景とは全く違ったので、それが印象的だったので書きました。

中脇氏

せっかくやし、しゃべってもらおう。

船引さん

何しゃべればいいですか。

中脇氏

なんでそんな反抗期みたいなんや。  
(会場笑)



船引さん

「なつバツグンにすずしい」を書きました。

私は麓の方に住んでいるんですけど、そこだと蒸し蒸しとした感じで暑かったんですけど、光都だと気温が下がって涼しいなって思える環境にあったんで、いいなと思いました。

中脇氏

ありがとう。

長谷川氏

涼しい顔している。

中脇氏

じゃあ、次は。

長谷川氏

ちょうちょ、紹介してあげて。友達のやつ。



榊さん

生物が一杯いて、教室とかにも虫がたくさん入ってくるんですけど。理科とかで観察できるなって、すごいネタが豊富です。

中脇氏

もっとしゃべってええで。

榊さん

ええー。授業中でも外に鹿おったりとか。

長谷川氏

うそ！

中脇氏

授業中に鹿見たことあるの。すごいな。もう鹿はこのまちのキャラクターみたいな感じになってるね。

長谷川氏

「動物にやさしい」みたいなものもありますね。「どうぶつに配りよしている光都だな」っていう。「と」もそんな動物ネタですね。

中脇氏

50音やりましたけど、長谷川さんはどう感じましたか。他のまちと違う特徴があるなあとか。

長谷川氏

そうですね。改めて見ますと、自然が豊かみたいなのがちょうど半分ぐらいでした。季節の変わり目とか、静かとか空気がきれいとか。

中脇氏

それはね、やっぱりだれもが感じているこのまち

の魅力っていうことですよ。

### 長谷川氏

後は、さっきの電柱がないとか、災害時の電気の話とか、都市的なことが半分からい。

ちょうど半分ずつぐらいだったんですね。これがなんかすごく光都らしいなと感じましたね。

### 中脇氏

やれることからどんどんやっていった印象としては、ハードなアウトドアじゃなくて、ソフトな感じ。入り口がとっつきやすいアウトドアみたいなのが、このまちではすごくいいと思った。

しかも、四季折々の魅力が、街路樹ぐらいの距離感にあるっていうのはなかなかない。やっぱり僕は、このまちを都市の里山みたいなイメージで捉えましたね。

### 長谷川氏

自然の山の部分もあるんですけど、計画されてつくられているところもあって、気軽に里山に触れられるみたいなども結構ありますよね。

まちのみらいかたるたをご紹介しますが、今回関わってくれた小学生と中学生の皆さん15人に、まちの未来として残したいかたるたを5つずつ選んでもらったんですね。最後にその投票結果をご紹介しますので終わりたいと思います。

### 中脇氏

投票結果は、こどもたちも知らないんですよ。

### 長谷川氏

はい。実は2位が4つもありました。

まず、2位をご紹介しますね。ひとつめがこれ、「きせつの変わりを身近に感じる」。



### 中脇氏

なんか日本人らしいですね。

### 長谷川氏

ねえ。春夏秋冬ですよ。これ書いてくれた人がいますね。ちょっと説明してもらえますか。

### 宋さん

日本人らしいと言われたんですけど、書いた私自身は韓国人です。工夫したところは、出てきてる女の子の成長みたいなどころです。

### 長谷川氏

ちょっとずつ女の子が変わってきてるんですよ。季節によってね。

ダヨンちゃんのもうひとつだけ紹介します。「を」を出してもらってもいいですか。気に入ったかたるたを選んだ中で、これも是非ご紹介したいと思ってたんです。「を一まいごと、いろいろな国が集まる町」、ダヨンちゃん、これも説明してください。



### 宋さん

これは一番最初に書いたかたるたなんですけど、大変だったのが国旗で、私はそんなに国旗を覚えてないので、みんなに教えてもらいながら書きました。

### 中脇氏

なんでこの言葉を書いたみたいな理由も教えてほしいな。

### 宋さん

私も含め、この光都には、いろいろな国の人が集まっているので書きました。

### 中脇氏

ところでクララのお父さんかお母さんはどこの国から来てるの。ハーフですか。あっドイツか。夏休みにはドイツに帰りますみたいなこと言ってたもんな。

### 長谷川氏

本当にいろいろな国の方々がいらっしゃって、それをみんなで一緒に楽しんでるっていうのが、すご

い光都らしくていいなって思っ

て。文字のカードも、結構みんな急いでたので黒い文字で書いてたりするんですけど、この、いろいろな色を使って書いてくれるのはすごい素敵だなと思ってご紹介しました。

第2位がまだ3つもあります。

次は「と」ですね。「どうぶつに配りよしている光都だな」。これが第2位のふたつめです。

これを書いてくれたまこちゃんとみゆきちゃんは会場には、今日はいないかな。

**中脇氏**

いないみたい。

**長谷川氏**

これは、小学5年生と1年生の姉妹が書いてくれたんですけど、動物に配慮しているって、どういうことか、説明できる人いますか。

**徳島さん**

動物のいる場所が作られている。森を全部壊さずに必要なところだけを使って、それ以外はそのままに残している。

**中脇氏**

なるほどね。ちゃんと残してるということね。

**長谷川氏**

動物の空間もあって、人の空間もあってっていうことですね。

これが第2位の二つ目でした。あと2つ、いきましようか。これが第2位の三つ目ね。「バスがどんどんやって来る」

**中脇氏**

これも2位ですか。

**長谷川氏**

これね、ちょっとびっくりじゃないですか。

**中脇氏**

びっくりです。これがこどもたちの印象的な風景なんですね。

**長谷川氏**

そう。これが未来に残したいいいところなのね。

**中脇氏**

なるほどね。

**長谷川氏**

これってね、すごい考えさせられるなあと思うんですけど、高槻にお住まいの中脇さんからすると、ここのバスってどんどんやって来るイメージですか。

**中脇氏**

どれくらいの頻度でやって来るのかな。通ってる子、教えて。

**榊さん**

10分に1本くらい。

**長谷川氏**

そうなんやね。そう、これね、どんどんやってきて、便利いいと思える感覚でちゃんと来るっていうことなんですよ。うん。なんかね、あの、都市に住んでたら10分に1本って不便と感じると思うんですけどね。でも、ちょうどいい具合に来ると思ってて、それがいいなあって感じてるのは、すごくいいなあと思いました。

**中脇氏**

それでいろいろな人と会う。一緒のバスになったりとか。

**長谷川氏**

そうよね。

**中脇氏**

どんどん来るから、毎回同じ人というって訳じゃなくて、今日はあの子と一緒にやった、今日はこの子と一緒にやったということがあるかもしれないね。

**長谷川氏**

じゃ、第2位の最後のひとつ。「りかの観察ネタが豊富」。これ、さっき紹介してくれたやつですね。

**中脇氏**

この「理科」っていう表現がね、理系のまちやなあみたいな感じがしますね。

**長谷川氏**

それでは最後の第1位です。「スプリング8。最先端がここにあり」。8票かな。15人のうちの8票、すごいですよね。やっぱりスプリング8、最先端技術。

**中脇氏**

このまちで、日本の技術のモデルとか試行、実験みたいなのが目に見えることが続いていくと、すご

くいいですよ。ここで見たことが、10年後、当たり前になるんかともかいう予感を感じさせるまちってというのはね。

#### 長谷川氏

ということで、かるたをご紹介してきたんですけども、そろそろ終わりにしたいなと思います。

せっかくですので小学生と中学生の皆さん、最後に一言ずついただきたいなと思います。光都の好きなどころ言ってもらいましょうか。

#### 廣本さん

僕の光都の好きなどころは、自然が豊かで、動物とか毎日のように触れ合えるところですよ。

#### 宋さん

私が好きなどころは、かるたにもあったんですけど、クラス替えがないところですね。

#### 西村さん

私の好きなどころは、星がきれいなところですよ。

#### 富名腰さん

私が好きなどころは、こどもが遊べる場所がとてもたくさんあるということです。

#### 徳島さん

私が好きなどころは、夜に星を見ながら花火をすることができるんですよ。

#### 船引さん

私の好きなどころは、季節がすごく身近に感じられるところですよ。

#### 榊さん

私が好きなどころは、景色が緑ばかりで、目にいいところですよ。

#### 清瀬さん

私が好きなどころは、生き物がいろいろたくさん種類がいるところですよ。

#### 中脇氏

僕がこの半年ぐらいこどもたちと一緒させてもらっていいなと思ったのが、すごくあいさつもできたりとか、こうやって書くこと、勉強の話題とかもできたり。同時に、裏山に秘密基地とか秘密ルートを持っているみたいなね。これはなかなかまちなかの子でもできないし、そういうことをちゃんと両立している思い出を育てていってるのは、このまちに

とってはいいいことなんじゃないのかなと思いました。

#### 長谷川氏

私も、こうやってみんなで見つけてきたかるたがすごい面白いものになって素敵だなと思います。

まちのみらいのタネがたくさん見つかって、かるた遊びも最後に1回だけなんですけど、みんなでやってすごい楽しかったよね。白熱したんですよ。

このかるたっていうツールができましたので、是非皆さんもやってみていただいたり、いいところを共有しながら、未来につなぐような動きになればいいなあって期待をしています。

ということで、第1部は終わりにしたいと思います。

#### 中脇氏

ありがとうございました。

#### 長谷川氏

どうもありがとうございました。

#### 司会

はい、長谷川様、中脇様、素敵な発表をしてくださいました皆様、本当にありがとうございました。いま一度、盛大な拍手をお願いいたします。

それではここで、兵庫県西播磨県民局長、東元良宏からワークショップにご参加いただきました皆様に記念品の目録を贈呈させていただきたいと存じます。壇上の皆様はあちら側、演台の方にお集まりください。

参加者を代表して廣本さん、一歩前へお進みください。県民局長、どうぞよろしく願いいたします。

#### 東元県民局長

目録、まちのみらいかるた一式。こどもワークショップ参加記念品として贈呈いたします。平成29年12月10日、兵庫県公営企業管理者、石井孝一。兵庫県西播磨県民局長、東元良宏。

楽しいかるたを作ってくれて、ありがとうございます。これからも頑張ってください。



## 司会

ありがとうございました。続きまして、テクノの未来を担う世代の皆様へ、東元県民局長からひとことメッセージを申し上げます。客席におられる小学生、中学生、幼稚園、保育園の皆様、お子さまがいらっしやいましたら、壇上にお上がりください。壇上の皆様は中央にお並びください。

それでは東元局長、どうぞよろしく願いいたします。



## 東元県民局長

楽しいかるたを作ってくれて、ありがとうございます。皆さんは、この播磨科学公園都市が大好きなんですね。

このまちのいいところがたくさん出てきてビックリしています。

いいところがあるというだけで、それで終わってしまいますが、いいところを活用していこうと、夏からいろいろと取り組まれたことで、さらにこのまちを大好きになっているのではないかと、皆さんの取組を見て思いました。

人口が減っていくという話がありましたが、それぞれが住んでいるところ、大好きなところをもっと生かしていく、それが大事だと思います。住んでいる人がその場所が大好きだということは大事なことです。住んでいない人にも、その大好きなこと、いいところが届くように頑張ってもらえたらと思います。

このかるたで遊ぶワークショップが年明けの1月に開催されると聞いています。皆さんに、ワークショップに参加していただくのと同時に、会場の皆さんにも参加いただいて、かるたを使ってみんなで楽しみながら、このまちをこれからどうしていくか話し合っていたらと思います。

それから、目録でお渡ししましたが、実際のかるたは皆さんのところに届きます。それを使って、皆さんの友達やこのまちに住んでいない人も遊ぶことで、このまちをたくさんの人に知ってもらい、いいところを知ってもらい、みんなに大好きになってもらう、そんなかるたにしていけたらと思います。

今日は、私たち県民局や、企業庁の公営企業管理者のほか、市長や町長さんたちも来てくれています。

みんなで力を合わせて、この播磨科学公園都市を世界一のまちにしようではないですか。そのために皆さんも頑張ってください。

私たちも頑張ります。会場の皆さん、頑張りましょうね！

(会場拍手)

本当にありがとうございました。

